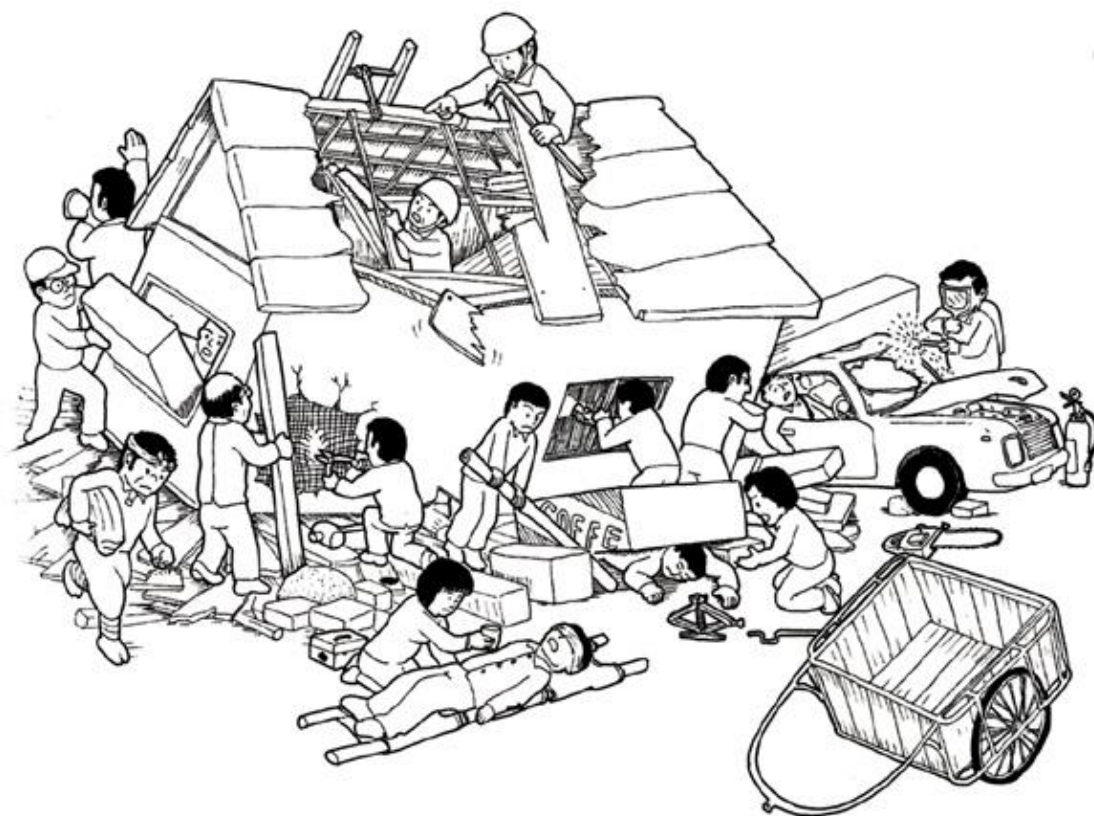


防災訓練マニュアル

自分たちでできることは自分たちでしょう！



瀬戸市

はじめに

過去の震災において、震災後早期に救出された被災者は生存率が高いといわれています。では、早期に救出された多くの被災者はいったい誰に救出されたのでしょうか。

消防や警察と思われがちですが、そのほとんどが家族や近所の人などの住民自身の手によるものです。

大地震が発生したときは、消防署の車庫が潰れて消防車が出動できないかもしれません。たとえ消防車が出動できたとしても道路ががれきりで塞がれ通行不能になっていたら行くことができません。

その場で助けを待っていたら、その命は助からないかもしれません。そんな時こそ地域住民による救出、救護や初期消火などがとても重要になります。

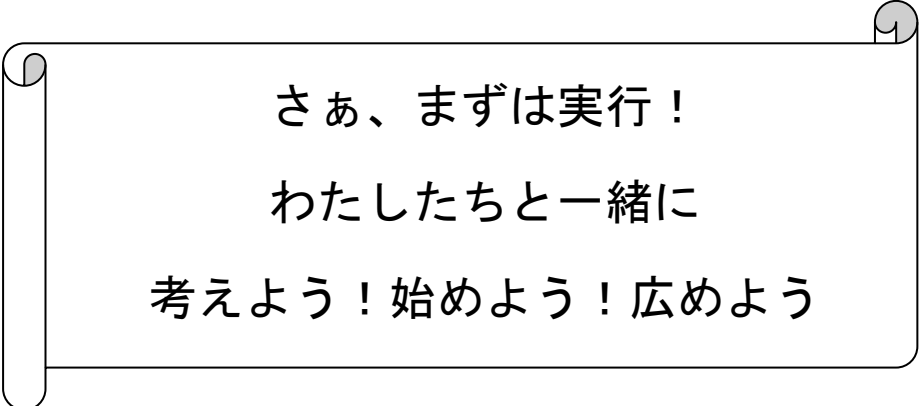
ひとりでも多くの命を助け、少しでも震災による被害を減らすためには地域住民の力が不可欠です。

この防災訓練マニュアルは、皆さんにもできる初期消火・救出・救護・避難などの訓練方法が掲載してあります。

これ以外にも、資機材がないときの救出方法や家族との連絡方法、炊き出し訓練など皆さんの創意工夫で訓練を「進化」させ、同時に地域の皆さんに「深化」させる必要があります。

目 次

1	初期消火訓練	1
2	救出訓練	5
3	応急救護訓練	8
4	避難誘導訓練	12
5	D I G（災害図上訓練）	18
6	水防訓練	20
7	避難の心得10か条	22
8	非常持出品・備蓄品チェックリスト	23
9	指定緊急避難場所・指定避難場所一覧	24
10	避難状況確認表	28
11	瀬戸市消防署ガイド	29



さあ、まずは実行！
わたしたちと一緒に
考えよう！始めよう！広めよう

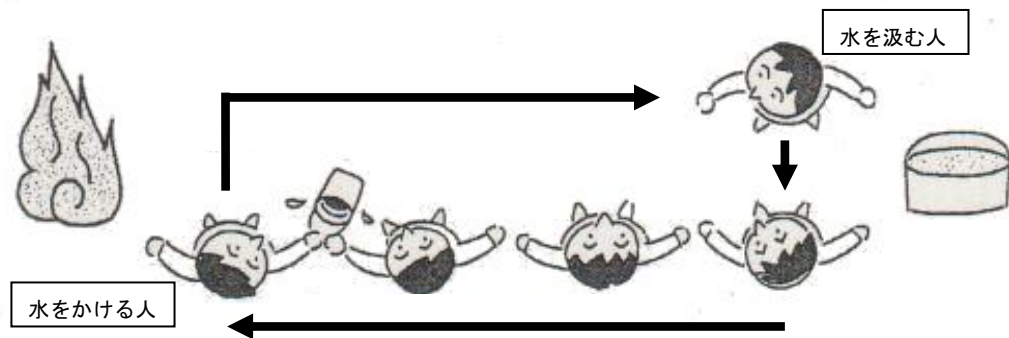
市民の 市民による 市民のための防災訓練！

1 初期消火訓練

水バケツ編

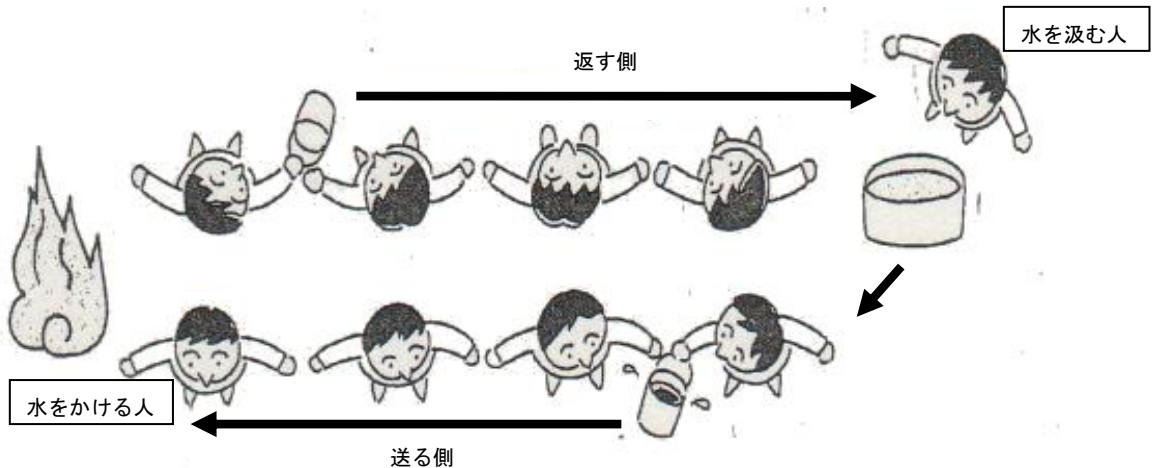
1 一列のリレー（人数が少ない場合の方法です。）

- ① 同じ方向を向き、隣との間隔は約1メートル（人数の多少により適宜調整）
- ② 先頭で水をかける人は、水をかけた後、空バケツを持って水槽側に移動し、水を汲んで再び列の最後尾に戻る。



2 二列のリレー

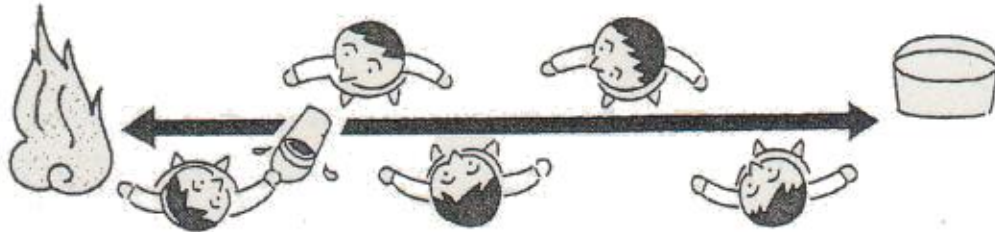
- ① 水バケツを送る側と空バケツを返す側の列が背中合わせになる。
- ② 各列とも隣の人との間隔は約1メートル（人数の多少により適宜調整）
- ③ 各列ともはあまり離れすぎない方がよい。



※ 水をかける人と水を汲む人は、必要に応じて随時交代する。

3 千鳥のリレー（一列リレーより人数が多い場合の方法です。）

- ① 一人おきに向きを変えて対面し、水バケツは斜めに向かい合う者で受け渡します。
- ② 水バケツの往復は片手送り、片手戻しで行います。
- ③ 水をかける人と水を汲む人は専従となります。



- バケツリレーは、水槽、浴槽、プール、池、川などから水を運び消火する方法です。
- バケツは約8リットルのものを使用し、水量は約50～60リットルとする。
- 水をかけるときは、消火目標の約2～3リットル手前から火元に向かって行う。
- 指導者は、掛け声をかけ流れをリードする。



消火器編



1 安全ピンを上方向に抜く。



2 ホースを外し火元に向ける。



3 レバーを強く握り、燃焼物を掃くように消火する。

- いざというときのために初期消火ができるよう街頭消火器が設置してあります。日ごろから町内の街頭消火器の位置を確認しておきましょう。
- 破損や腐食した消火器は使用しないようにしましょう。
- 10年を経過した消火器は交換または点検を実施しましょう。
- 火が天井に届くまでが初期消火のゴールデンタイム！
- 天井に届いた火は天井を伝って一気に延焼拡大します。
- 天井に火が届いてしまったら速やかに避難しましょう。

消火器はどこに
設置されている
のかな？



10年も昔の消
火器は使えるの
かな？

資機材準備編

- 普段から備えよう！
- 被害を最小限にするには、自分たちの町にはどんな資機材があるのだろうか？
- そして何が有効だろう？ 普段から考えてみよう！

例えば・・・・・・・・



家庭用消火器 三角消火バケツ 水バケツ 投てき水バック



ヘルメット 街頭消火器 タオル 軍手



町内会等備蓄消火器 大型消火器 軽可搬ポンプ 可搬式散水装置 街頭設置防火用水 (ドラム缶等)

2 救出訓練



震災等による挟まれや閉じ込めなどの救出は、二次災害を引き起こしてしまうケースも考えられます。防災関係者や建築関係者など専門知識を持った人を中心に家屋の構造や救出方法について指導してもらいましょう。

閉じ込められた人の救出



救出要領

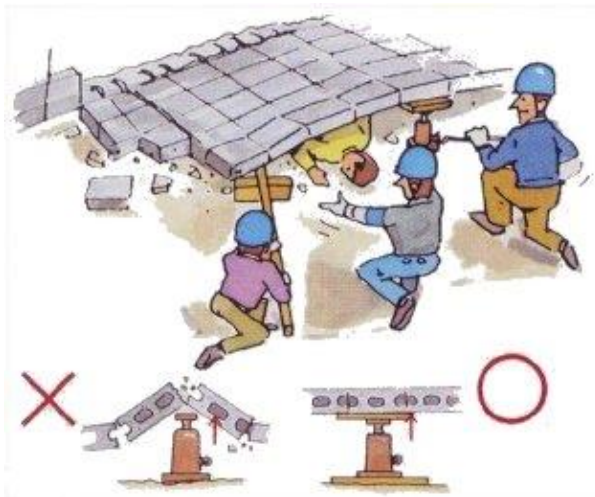
- 1 閉じ込められている人に声をかけ安心させ、できれば人数などを聞き出す。
- 2 角材などを用意しておき、ジャッキやてこを利用して、かぶさっているものを持ち上げ、できた空間に角材などを入れて支える。



ワンポイントアドバイス

- 除去や破壊をする場合は、付近が崩れないように注意する。
- 支えに使う角材などは、できるだけ太くて亀裂が入っていない丈夫なものを使用する。

倒れたブロック塀からの救出



救出要領

- 1 バールや角材、鉄パイプなどをてことして使用して、隙間ができたならジャッキを入れ持ち上げる。
- 2 できた空間に角材などを入れて救出する。



ワンポイントアドバイス

- ブロックは壊れやすいので、てこの支点には使わない。
- ブロック塀をジャッキで持ち上げる場合、ブロックは壊れやすいので板などのあて物をする。
- 持ち上げる高さは、救出に最低必要な高さまでとし、すべりなどに注意する。

クラッシュシンドロームって？



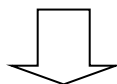
がれきの中から救出されたのに助からない!? 救出された時には元気でも数時間後に急変することがあります。

1995年1月17日の阪神・淡路大震災でがれきの下に埋まった状態から救出された人が数時間経った後に症状が急に悪化し、死亡した例が多数あります。これが俗に「クラッシュシンドローム（挫滅症候群）」と呼ばれるものです。

クラッシュシンドロームは救出された直後は、症状が特にないケースが多く、重症でも分かりにくいいため、見落とされてしまう場合が多くみられます。

以下にあてはまる場合は、クラッシュシンドロームを疑った方がよいとされています。

- 2時間以上にわたり腰、腕、足などががれきの下敷き状態であった。
- 軽度の筋肉痛や手足のしびれ、脱力感などの症状がある。
- 尿に血が混じり、茶色の尿が出る。
- 尿の量が減る。



早期に医療機関で専門の治療を受ける！

3 応急救護訓練

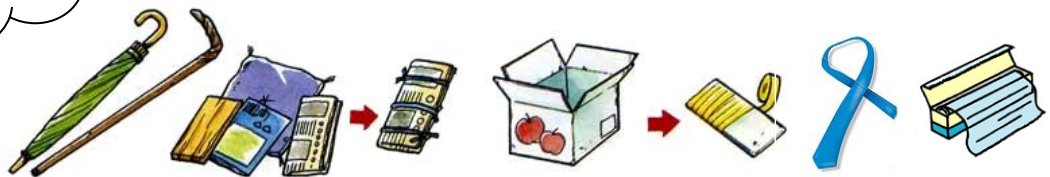
骨折時の固定



他にそえ木になるものは何があるのかな？



三角巾がなかったらどうしよう？



そえ木がない場合は、雑誌や新聞紙でそえ木の代わりにします。

固定する場所によっては、傘、段ボール紙などもそえ木になります。

長さが足りなければ、ずらして重ねれば長さを調節することもできます。

腕の場合、そえ木で固定した後に三角巾などで肩から吊ると動揺が緩和されます。

止血の方法

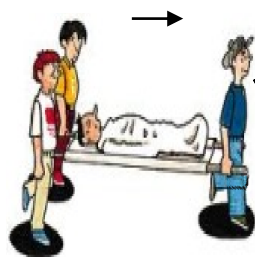


きれいなガーゼやハンカチを当て、強く押さえます（大部分の出血はこの方法で止まります）。

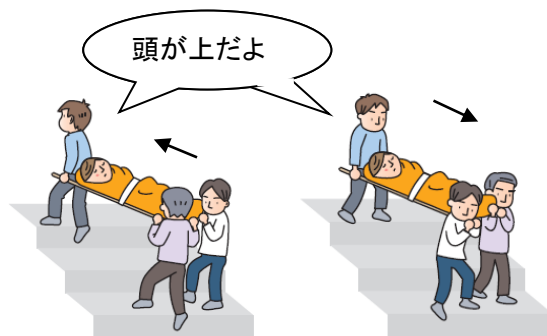
出血が止まらない場合は、さらに上からガーゼを重ね、幅の広い包帯やタオルで縛ります。また、出血部位を心臓より高い位置にすることも有効です。

止血を行うときは、感染防止のため血液に直接触れないように、ビニールやゴム手袋などを利用しましょう。それらがなければ、ビニールの買い物袋などを利用する方法もあります。

担架搬送法



足側からだよ

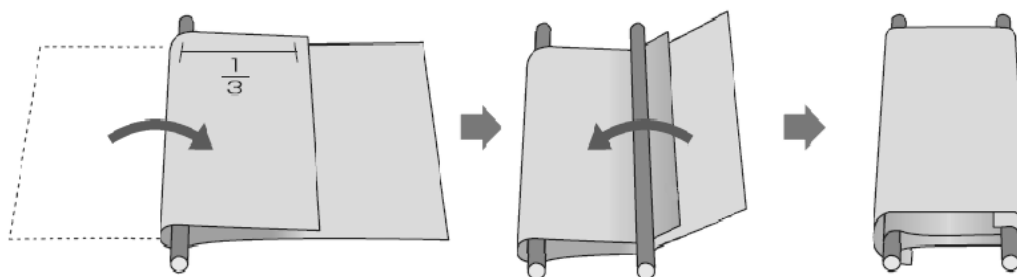


階段を上る時

階段を下る時

応急担架 1 (毛布を使う)

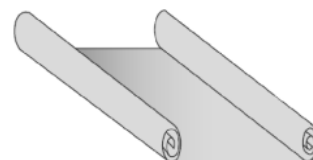
- 十分に余裕を取る。



毛布の横 $\frac{1}{3}$ のところに棒（物干し竿など）を置いて、毛布を折り返して作製します。



もし物干し竿が
なかったら？

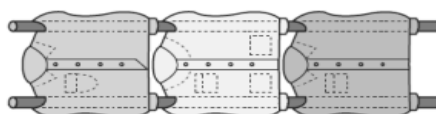


- 毛布の端を丸めるだけでも簡単な担架が作製できます。

応急担架 2 (衣類を使う)

大柄な人を運ぶには
4人は必要だな。

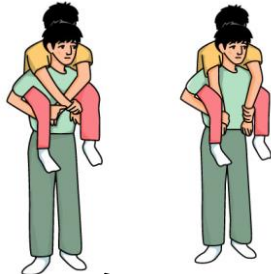
他に身の回りで担架の
代わりになるものは何
かな？



- 伸びない素材のものを使いましょう。

徒手搬送法（担架を用いない）

1人で搬送する方法



背負い搬送では、意識障害、骨折、内臓損傷のある傷病者には不適当です。

横抱き搬送では、小児、乳児や小柄な人に適しています。

2人で搬送する方法



傷病者の首が前に倒れる恐れがあるので、気道の確保に注意します。

2名がお互いの歩調を合わせ、動揺を与えないようにします。



3人で搬送する方法



足側の膝をつき、頭側の膝を立てて折膝とする。両腕を傷病者の下に十分入れる。

3名が同時に行動する。



ワンポイントアドバイス

- 傷病者の足側が、前になるように搬送する。
- 搬送中は、足側よりも頭部側が低くならないように注意する。
- 傷病者の状態、けがの部位や病気の種類により、最も適切な方法で運びます。
- 努めて複数の者による搬送を心がける。
- 徒手搬送する場合は、傷病者に与える負担が大きいため必要最小限にする。

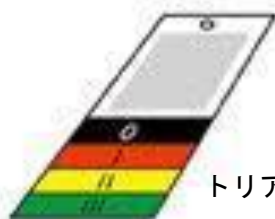
トリアージ

トリアージとは、多数の傷病者が発生した災害に対し、限られた人的物的資源の中で、最大多数の傷病者に最善を尽くすため、傷病の緊急度と重症度により治療や搬送の優先順位を決定することを言います。

トリアージは、医師、看護師、救命士又は救急隊長が実施します。

順位	分類	識別色	傷病状態および病態
第1順位	最優先治療群 (重症群)	赤 (Ⅰ)	生命を救うため、直ちに処置を必要とする傷病者 (救命が可能な傷病者)
第2順位	待機的治療群 (中等症群)	黄 (Ⅱ)	多少治療の時間が遅れても、生命に危険がない傷病者
第3順位	保留群 (軽症群)	緑 (Ⅲ)	上記以外の軽易な傷病で、ほとんど専門医の治療を必要としない傷病者など
第4順位	死亡群	黒 (Ⅳ)	既に死亡している者又は直ちに処置を行っても、明らかに救命が不可能な傷病者など

※ 判定結果は、トリアージ・タグとよばれる識別表で表示されます。



トリアージ・タグ



トリアージという言葉は、まだ市民のみなさんには、ほとんど知られておらず、その意味も意義も理解されていないのが現実です。

このような中で、大規模災害時に多数の傷病者が発生した場合、トリアージを実施しようとしても、傷病者の家族や軽症者本人が優先度判定に疑問や不信感を持ち、現場活動の妨げやトラブルの原因となる場合があります。

また、会話のできない重症者よりも軽症者の方が苦痛の訴えが強く、トリアージを混乱させたりする場合があります。

災害現場では、市民のみなさんの理解と協力がなければ、トリアージを含む救急・救助活動を迅速・安全に実施することはできません。防災訓練等を通じて、災害時の心構えや救急・救助についての知識を身につけてください。

4 避難誘導訓練

大火災、地震、風水害などの災害が発生し、被害が拡大して危険がさし迫ったとき、避難が必要となります。多くの人が秩序正しく安全に避難するため、避難誘導訓練によりその要領を身につけておくことが大切です。



まずは皆を安全に
避難させることが
肝心だな。

避難場所の確認

家族全員で避難するコースと一時(いつとき)集合場所(※)や指定避難場所(P24～P27)を確認しておきましょう。また、万一家族が別々になった時のことも話し合っておきましょう。

※ 一時(いつとき)集合場所とは・・・

地震災害が発生した場合に、組・町内単位で一時的に集まる場所です。

この一時集合場所は隣近所での安否確認や応急活動(救出・初期消火・応急救護など)の拠点となる場所です。また、災害の状況を見極め、ここから市が指定する避難場所へ集団で避難します。

なお、指定避難場所に近いときは、直接指定避難場所へ集合します。



ワンポイントアドバイス

- 防災訓練等で積極的に一時集合場所を使用して訓練をする。
- 組回覧等で定期的に周知しておく。

いつ避難するのか？

地震、風水害などで危険が迫ったときは、少しでも早い避難が必要です。
次の場合は、ただちに避難するようにしましょう。

- 自分で危険と判断したとき
- 市役所の職員や消防署員、消防団員、警察官から指示があったとき
- 町内会のリーダーなどから避難の呼びかけがあったとき
- 避難勧告、避難指示が発令されたとき



避難の要領

- 1 避難する前に火の元を確認しましょう！ ガスの元栓、電気のブレーカーもオフ！ 原則、徒歩で避難します。

避難する経路はいくつか選定しておき、風向き、災害の発生状況、道路の障害などの情報をもとに最も安全な避難経路を決定します。



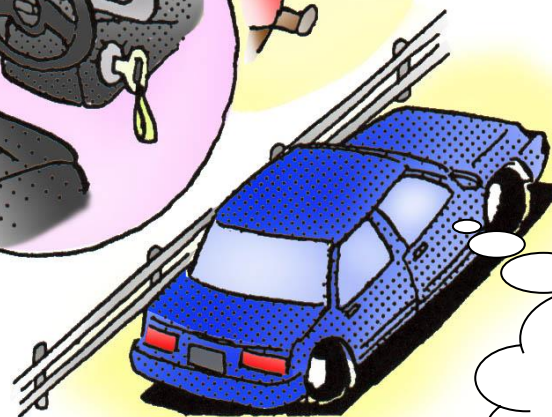
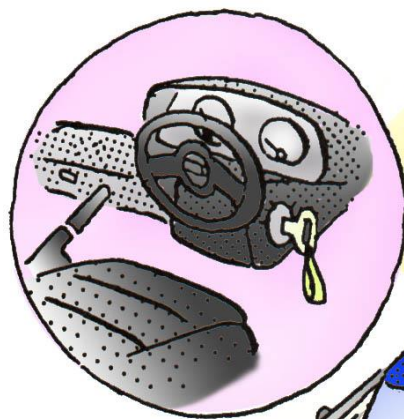
- 2 負傷者、病人など一人で避難できない人がいる場合は、近所で協力して応急担架などによる搬送を行います。



- 3 集団で避難する場合、歩行速度は一番遅い人（お年寄り、子ども等）の歩行速度に合わせ、先頭は、常に最後尾の状況を確認して避難します。
全員で一本の長いロープやひもを持つと安心感があります。



- 4 自動車での避難は、防災活動や避難の障害となるので、絶対にいけません。自動車は道路の左側に停車し、エンジンを止め、キーはつけたままでドアロックもしないでおきましょう。



- 5 台風や豪雨等で局地的な崖崩れ、河川の増水、土石流等、土砂災害が発生すると予想される場合は、「自分の命は自分で守る。」という考えのもと、危険が迫る前に早めに避難します。

こんな前兆現象が、あったら・・・



- 小石がパラパラ落下
 - 斜面に湧水が発生
 - 斜面に亀裂が発生
- 崖崩れの前兆現象



安全な場所へ避難（避難場所、近くの高台、土砂災害警戒区域外の親戚の家など）

水平避難



堅牢な建物の2階以上または、近隣の高い建物へ避難

垂直避難



建物内の安全な場所で待避（夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとかえって危険な場合）

屋内待避
(斜面の反対側)



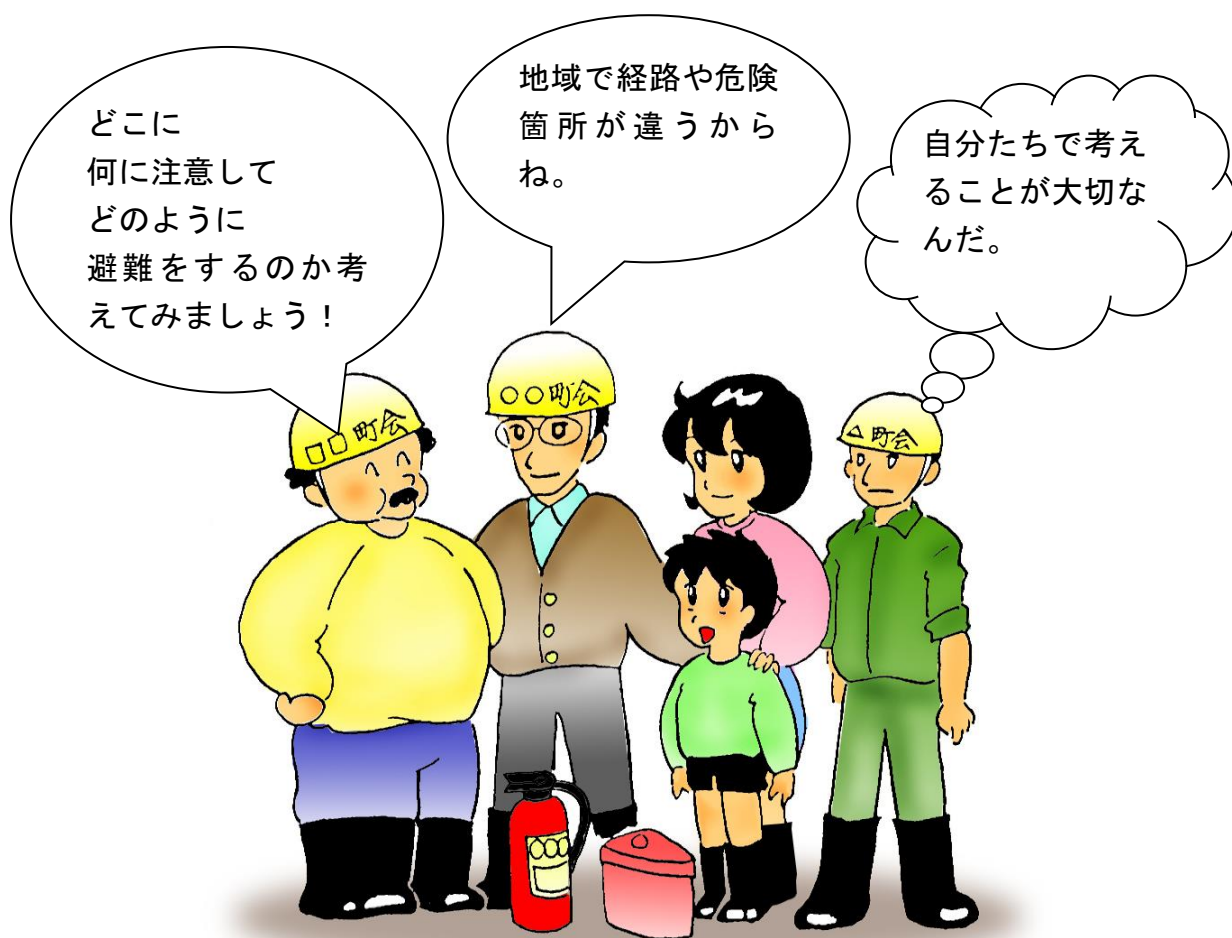
安全な場所へ避難しよう！

高い建物へ避難しよう！

まずは2階へ避難しよう！

訓練の方法（地震編）

- 1 隣近所に声をかけ、助けあって一時集合場所に集結します。
- 2 町内会のリーダーなどは、あらかじめ組・町内単位で作成した名簿などで安否確認を行います。
- 3 応急活動（救出・初期消火・応急救護など）を協力して行います。
- 4 避難を判断し、一時集合場所から、更に避難場所へ実際に避難するとともに他の避難路の検討を行います。
- 5 要所に交通整理員を配置するなど、交通事故の防止に努めます。



☆ 留意事項

- 服装は身軽で露出部分を少なくし、ヘルメット、帽子などで頭を守り、靴は底のしっかりした運動靴などを履きましょう。
- 荷物は背負うなどして、動きやすい態勢で隣近所に声をかけ、みんなでまとまって歩いて避難しましょう。
- みんなで安全を確認しあい、町内会ぐるみで実施しましょう。

5 DIG (災害図上訓練)

DIGとは

DIG(ディグ)は、参加者が地図を使って防災対策を検討する災害図上訓練です。災害(Disaster)のD、想像力(Imagination)のI、ゲーム(Game)のGの頭文字を取って命名されました。

また、DIGという単語は、「掘る」という意味を持つ英語の動詞でもあり、これが転じて、探求する、理解するといった意味を持っています。

このことから、DIGという言葉には、「災害を理解する」「まちを探究する」「防災意識を掘り起こす」という意味も込められています。

DIGのルール

- 1 全員が自由に発言できる雰囲気をつくる。
- 2 他人の意見を良く聞き、他人の意見を否定しない。
- 3 指定された時間を守り、作業の途中でも次に進む。
- 4 DIGに正解はない、ベターかベストか、どのレベルを目指すのかを考えて行う。
- 5 DIGで出た個人情報などは、参加者以外へ他言しない。

ステップ1 自己紹介と役割分担

- 1 話しやすい雰囲気を作るため各班で自己紹介を行う。
- 2 各班でリーダー、書記、発表者を話し合って選出する。
※リーダーは、話し合いのまとめ役を行う。
※発表者は、班の検討結果を発表する。

ステップ2 地図の作成

自分たちの住むまちの構造や特徴を地図に書き込んだり、色シールで表示しながらまちの強さ・弱さを確認する。

- 1 道路や鉄道、河川や公園などを地図に書き込む。
- 2 土砂災害危険箇所や急傾斜地、避難場所や防災倉庫などを色の付いたシールなどを使って地図に貼り付ける。

ステップ3 災害想定を基に地域に起こり得る災害とその被害を予測する。

地域のハザードマップなどを利用して建物倒壊や土砂災害、延焼火災などの災害が、どこで発生し、どのような被害が起こるか予測して付箋などに記入する。

ステップ4 予測した災害による被害を軽減する対策を考える。

ステップ3で予測した災害による被害に対して、どのような対応策があるか自助・共助の観点から具体的に考え、付箋などに記入する。

ステップ5 検討結果の発表

訓練を通じて気づいたことや、発見できたことを参加者で共有するため、班毎に検討内容を整理してB紙などにまとめ、班のスローガンも含めて発表する。

《地図作成の例》



《まとめの例》

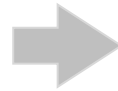
〇〇班	スローガン ○○○○○○	
	災害・被害	対応策
人的・物的 建築物 など		
鉄道・道路 河川 など		
インフラ 通信 など		

6 水防訓練

● 土のうの作り方



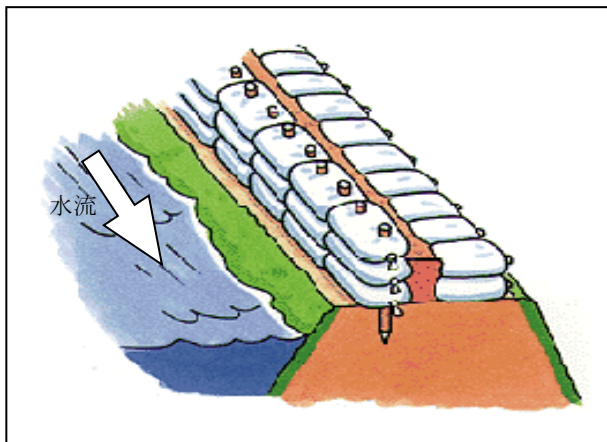
袋のはしに出ている紐を引いて、袋の口をしぼります。



しぼり終わったら、紐を2～3回まわして、紐の出口を上から下へ通し、引いて締めます。

● 積み土のう工法

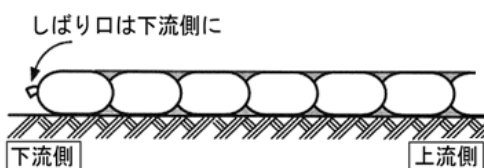
越水（川の水が堤防からあふれ出る）を防ぐ水防の基本となる工法



- ・ 堤防天端に土のうを積む。
- ・ 川側を「長手積み」、住居側は「小口積み」にする。
- ・ 土のうの隙間に土を埋め、杭を打って固定する。

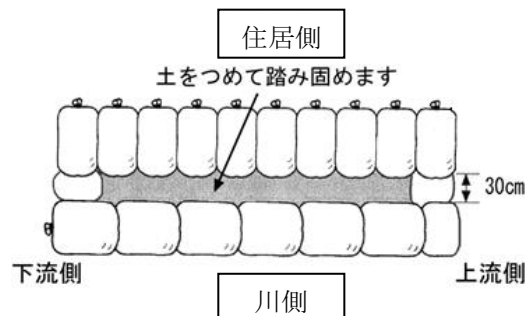
・ 長手積み

土のうのしぼり口は下流側に向ける



・ 小口積み

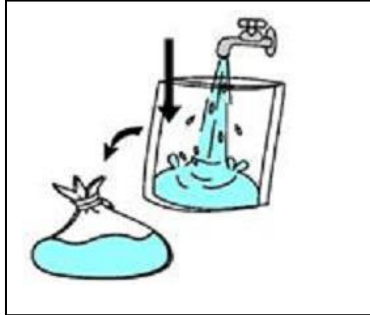
土のうのしぼり口は住居側に向ける



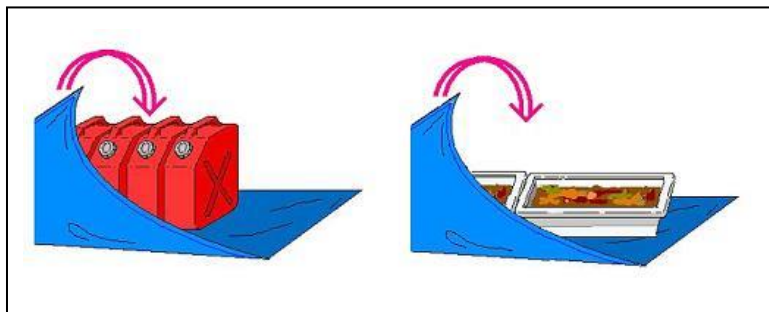
家庭にあるものを利用した水防対策

家庭にあるものを利用し、簡易的な対策をとることができます。あくまで水深の浅い段階のもので、身の危険を感じるような場合は、早めの避難が大切です。

- ごみ袋を二重または三重にして半分程度まで水を入れ、きつく縛って簡易水のうを作り、出入口などに隙間なく並べて浸水を防ぎます。



- 水を入れたポリタンクや砂を入れたプランターをレジャーシートで覆い、出入口などに並べて浸水を防ぎます。



- 出入口に板を立てかけて、簡易水のうで固定し浸水を防ぎます。



避難の心得10か条

- 対処の仕方は状況により様々です。
- 冷静に状況判断し、まずは自分自身の安全確保を最優先に考えましょう。

<p>1 まず、身の安全を！ 地震が起きたら、まず第一に身の安全を確保しよう。家具の転倒や落下物には十分注意しよう。</p>	<p>2 すばやく火の始末！ 火を使っているときに揺れを感じたら素早く火の始末をしよう。</p>
<p>3 火が出たらすぐ消火！ 火災が発生しても天井に燃え移る前ならあわてず初期消火に努めよう。</p>	<p>4 戸を開けて出口の確保！ 地震で出入口が開かなくなることもあります。出入口を開けて避難口を確保しよう。</p>
<p>5 外へ逃げるときはあわてずに！ 屋外に逃げるときは、瓦やガラスなど落下物に注意し、あわてず落ち着いた行動をしよう。</p>	<p>6 狭い路地、ブロック塀や川べりには近よるな！ ブロック塀、門柱や自動販売機などは倒れやすいので注意しよう。また、水害のときは川べりなどの通行は避けよう。</p>
<p>7 崖崩れ、山崩れ、津波に注意！ 山間部や海岸地帯で地震を感じたら直ちに安全な場所に避難をしよう。</p>	<p>8 避難は徒歩で、荷物は最小限に！ 指定された避難所・避難場所に徒歩で避難をしよう。荷物を持ちすぎると避難の障害になります。</p>
<p>9 協力して応急活動！ 地域ぐるみで協力し合って初期消火や救出、救護活動にあたろう。</p>	<p>10 正しい情報を得る！ 間違った情報に惑わされず、ラジオやテレビからの正しい情報で的確な行動をしよう。</p>

非常持出品・備蓄品チェックリスト



- 非常持出品は、両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめましょう。
- 避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめましょう。
- 自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょう。
- 自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう。
- 定期的の中身をチェックしましょう。

貴重品	<input type="checkbox"/> 現金（公衆電話用に10円・100円硬貨があると便利） <input type="checkbox"/> 預金通帳類 <input type="checkbox"/> 身分証明書（運転免許証・パスポート） <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 印鑑	
情報収集品	<input type="checkbox"/> 携帯電話（充電器含む） <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（予備電池含む） <input type="checkbox"/> 家族・親戚・知人の連絡先	
飲食物	<input type="checkbox"/> 非常食（缶詰・カンパン・アルファ米・レトルト食品・インスタント食品・菓子類）	
医薬品等	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬	
衣料品等	<input type="checkbox"/> 下着・上着・靴下 <input type="checkbox"/> ハンカチ・タオル <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 雨具（カッパ・レインコート等） <input type="checkbox"/> 軍手	
日用品等	<input type="checkbox"/> 懐中電灯（予備電池含む） <input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 紙コップ・紙皿 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ビニールシート <input type="checkbox"/> マッチ・ライター <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> トイレットペーパー	
その他	<input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 紙おむつ（幼児用・高齢者用） <input type="checkbox"/> 卓上コンロ・携帯コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ等の燃料 <input type="checkbox"/> その他自分の生活に必要なもの <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()	

◎ ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。

- ★ ご自宅近くの避難場所・避難所を確認しておきましょう。
- ★ 避難をする場所は、地震と風水害で、それぞれ分かれています。
- ★ 地震の時は、原則として屋外のグラウンドなどが避難場所になります。
- ★ 一時集合場所から、避難場所・避難所へ避難しましょう。

(1) 指定緊急避難場所

名称	異常な現象の種類					所在地
	(地震 ⁽³⁹⁾)		(風水害 ⁽²³⁾)			
	地震	大規模な火事	洪水	崖崩れ・土砂災害	及び地滑り	
窯神グラウンド	グラウンド					東安戸町 30-1
道泉小学校	運動場					道泉町 44
本山中学校	運動場					道泉町 76-1
道泉地域交流センター			センター内			道泉町 53-5
陶祖公園	野球場等					藤四郎町 42
深川小学校	運動場					宮脇町 53
深川公民館			館内			宮脇町 53
古瀬戸小学校	運動場					古瀬戸町 70
古瀬戸公民館			館内			西拝戸町 16-10
東明小学校	運動場					東明町 50
東明公民館			館内			西拝戸町 16-3
祖母懐小学校	運動場					萩殿町 2 丁目 178
祖東中学校	運動場					中山町 1
祖母懐公民館			館内			上ノ切町 43
南公園	野球場等					西茨町 113-44 外
陶原小学校	運動場					原山町 1-3
水無瀬中学校	運動場					原山町 1
県立瀬戸窯業高等学校	運動場					東権現町 22-1
陶原公民館			館内			熊野町 98
長根小学校	運動場					東長根町 166
聖妃女子高等学校	運動場					西長根町 137
長根公民館			館内			城屋敷町 22
平町公園	公園内					平町 3 丁目 142
效範小学校	運動場					效範町 1 丁目 1
東山小学校	運動場					東山町 71
県立瀬戸高等学校	運動場					東山町 1 丁目 5
效範公民館			館内			北山町 39
水南小学校	運動場					東松山町 154
水南公民館			館内			東松山町 154
市民公園	野球場等					上本町 1
水野小学校	運動場					小田妻町 2 丁目 22
水野中学校	運動場					日の出町 34

県立瀬戸北総合高等学校	運動場		本郷町 260
水野地域交流センター		センター内	中水野町 1 丁目 150
西陵小学校	運動場		すみれ台 1 丁目 77
南山中学校	運動場		ひまわり台 5 丁目 1
西陵地域交流センター		センター内	はぎの台 1 丁目 1
定光寺公園	公園内		定光寺町 50
品野台小学校	運動場		上品野町 1234
掛川小学校	運動場		下半田川町 592-41
品野中学校	運動場		広之田町 2-5
品野台地域交流センター		センター内	上品野町 1211
上半田川町民会館		館内	上半田川町 362-1
下半田川町民会館		館内	下半田川町 842
下品野小学校	運動場		品野町 6 丁目 223
品野南保育園		遊戯室	品野町 3 丁目 433-5
下品野ふれあい会館		館内	品野町 6 丁目 55
幡山東小学校	運動場		八幡町 455
山口公民館		館内	田中町 108
本地会館		館内	駒前町 20-1
幡山西小学校	運動場		幡西町 203
幡山中学校	運動場		幡中町 106
幡山公民館		館内	幡山町 71
県立瀬戸西高等学校	運動場		緑町 1 丁目 140
新郷地域交流センター		センター内	東赤重町 1 丁目 100
原山小学校	運動場		原山台 3 丁目 98
萩山小学校	運動場		萩山台 2 丁目 22
光陵中学校	運動場		萩山台 9 丁目 244
八幡小学校	運動場		八幡台 3 丁目 1
原山公民館		館内	原山台 8 丁目 163
萩山公民館		館内	萩山台 4 丁目 2-2
八幡公民館		館内	八幡台 1 丁目 145-2

(2) 指定避難所（地震） 28校

名称	収容場所	収容定員(目安)			所在地
		長期 (3 m ² /人)	初期 (2 m ² /人)	直後 (1 m ² /人)	
道泉小学校	体育館	100	200	320	道泉町 44
本山中学校	体育館・柔剣道場	265	535	870	道泉町 76-1
深川小学校	体育館	80	160	255	宮脇町 53
古瀬戸小学校	体育館	95	190	305	古瀬戸町 70
東明小学校	体育館	95	190	310	東明町 50
祖母懐小学校	体育館	80	155	255	萩殿町 2 丁目 178
祖東中学校	体育館・柔剣道場	210	420	685	中山町 1
陶原小学校	体育館	135	275	445	原山町 1-3
水無瀬中学校	体育館・柔剣道場	210	420	685	原山町 1
長根小学校	体育館	95	190	310	東長根町 1 6 6
效範小学校	体育館	95	195	315	效範町 1 丁目 1
東山小学校	体育館	95	190	305	東山町 71
水南小学校	体育館	95	190	305	東松山町 154
水野小学校	体育館	95	190	310	小田妻町 2 丁目 22
水野中学校	体育館・柔剣道場	270	540	880	日の出町 34
西陵小学校	体育館	95	190	305	すみれ台 1 丁目 77
南山中学校	体育館・柔剣道場	280	565	915	ひまわり台 5 丁目 1
品野台小学校	体育館	110	220	360	上品野町 1234
掛川小学校	体育館	85	165	270	下半田川町 592-41
品野中学校	体育館・柔剣道場	290	575	935	広之田町 2-5
下品野小学校	体育館	95	190	310	品野町 6 丁目 223
幡山東小学校	体育館	95	190	305	八幡町 455
幡山西小学校	体育館	95	190	305	幡西町 203
幡山中学校	体育館・柔剣道場	275	550	890	幡中町 106
原山小学校	体育館	95	190	305	原山台 3 丁目 98
萩山小学校	体育館	95	190	305	萩山台 2 丁目 22
光陵中学校	体育館・柔剣道場	290	580	945	萩山台 9 丁目 244
八幡小学校	体育館	95	190	305	八幡台 3 丁目 1
	小計	4,010	8,025	13,010	

(3) 指定避難所（風水害） 23施設

名称	収容場所	収容定員(目安)			所在地
		長期 (3 m ² /人)	初期 (2 m ² /人)	直後 (1 m ² /人)	
道泉地域交流センター	センター内	45	90	145	道泉町 53-5
深川公民館	館内	40	85	135	宮脇町 53
古瀬戸公民館	館内	35	70	115	西拝戸町 16-10
東明公民館	館内	40	85	135	西拝戸町 16-3
祖母懐公民館	館内	55	115	185	上ノ切町 43
陶原公民館	館内	60	115	185	熊野町 98
長根公民館	館内	60	115	190	城屋敷町 22
效範公民館	館内	80	160	265	北山町 39
水南公民館	館内	40	75	125	東松山町 154
水野地域交流センター	センター内	75	150	245	中水野町 1 丁目 150
西陵地域交流センター	センター内	95	190	305	はぎの台 1 丁目 1
品野台地域交流センター	センター内	60	120	195	上品野町 1211
上半田川町民会館	館内	15	30	50	上半田川町 362-1
下半田川町民会館	館内	40	80	130	下半田川町 842
品野南保育園	園舎内	20	45	70	品野町 3 丁目 433-5
下品野ふれあい会館	館内	40	75	125	品野町 6 丁目 55
山口公民館	館内	70	135	220	田中町 108
本地会館	館内	40	65	110	駒前町 20-1
新郷地域交流センター	センター内	105	205	335	東赤重町 1 丁目 100
幡山公民館	館内	40	80	130	幡山町 71
原山公民館	館内	35	75	120	原山台 8 丁目 163
菽山公民館	館内	35	70	115	菽山台 4 丁目 2-2
八幡公民館	館内	40	80	130	八幡台 1 丁目 145-2
	小計	1,165	2,310	3,760	

※全ての災害において、市内全域で相当な被害が予測される場合には、全指定避難所（地震・風水害）51か所を順次または同時開設する場合もある。

※指定緊急避難場所と指定避難場所は、相互に兼ねることができる。

（※災害対策基本法第49条の8）




避難状況確認表

入所年月日	年 月 日	町内会	第 組(班)
		避難所・避難場所	
世帯主氏名	世帯人員 (世帯主含む)	避難人員	特別な配慮 病気・障害・食事制限など特別な配慮が 必要な方がいるなど、注意点があったら お書きください。
合 計			
		記入者氏名	


◎ この確認表は、町内会または組(班)を単位として、あらかじめ記入しておき、避難所・避難場所で人員を把握するために使用するものです。

瀬戸市消防署ガイド

防火・防災についてお困りになっている事やご相談されたい事が
ありましたら、最寄りの消防署まで気軽にご連絡ください。

名 称	住 所	電 話 番 号
消防署	瀬戸市苗場町 101番地	 85-0474
東分署	瀬戸市品野町1丁目 190番地の1	 41-0119
南分署	瀬戸市南山口町 143番地	 21-0119

消防テレホンサービス

 82-0119




防火防災の情報をはじめ、どこで火災や事故が起きているかなどの情報をお
伝えしています。



平成30年10月 12日改正

緊急連絡先

あらかじめ記入し活用してください。

一時（いつとき）集合場所

一時（いつとき）集合場所を記入してください。

避難場所

避難所や避難場所を記入してください。

重要事項記入欄

その他必要事項を記入し活用してください。